



さかさ通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互さまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかさ通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。今回のさかさ通信26号は、10月末の市長選挙を経て新しい市長が生まれた阪南市、総合こども館その後を中心に、これから阪南市がどうなっていくのか、この12月議会の内容も含めてお知らせいたします。

総合こども館の特別委員会

市長の初登庁が11月14日、そして16日には総務事業水道常任委員会が開催されるというタイトなスケジュールで始まった市長の議会対応ですが、24日には選挙最大の争点だった「総合こども館整備特別委員会」が開催されました。

24日の会議の冒頭で「11月14日をもって総合こども館整備事業は廃止いたしました」との報告を初めて受けました。どの事業も執行権は市長にあるので、議決を必要としない事業廃止は事後報告でもいいのかも知れませんが、こども館については議会・委員会でも相当議論してきたので「情報公開と透明性」を大きく打ち出す市長としては10日後ではなく、早く情報が欲しかったところです。

会議の内容は、市から総合こども館の費用約4億3千万円について国と調整、もしくは返還予定だという説明があったのと、議員からもたくさんの質問がありました。内容は議会とも重複する部分が多いので次のコーナーでお伝えします。

■本議会で大注目■

水野市長からのメッセージ

12月本議会では私を含め6人の議員が新市長に対して「一般質問」を行い、水野市長これからの4年間の方向性を問いました。その中から上甲独自のチョイスではありますが、注目すべきメッセージを『6つ』に絞ってお伝えします。

■その1■

こども館は白紙撤回。
一極集中とプロセスにNO。

今回、当然のことながら「総合こども館」について質問が集中しました。『こども館の「一極集中」「プロセス」に対しては白紙、各地域にある7施設をとりあえず残す。こども館に付随していた「病児・病後児保育対応」「お母さんの働きやすい環境づくり」「感染症予防」「子育て支援」などの事業はいったんゼロベースだが継続していく。』との事です。



▲ 阪南市議会の議場

■その2■

市民参画・協働。
情報公開と透明性。

これも市長が選挙の時から仰っているメッセージです。『これからは市民が、地域が「まちづくり」を積極的に進めていく。決定過程をオープンにする。』

■その3■

P.Tにて子どもの安全を再構築。現状6施設の耐震診断は「来年度」完了予定。子どもの未来への一定の方向性も「来年夏」。

12月2日に阪南市子ども未来P.T(プロジェクトチーム)が立ち上がりました。市の職員12人によるP.Tです。『同時にまず現状の7施設の内、耐震補強が出来ていない6施設の耐震診断をスタートし、それが終わるのが年度をまたぎ来年度。P.Tからの一定の方向性は「来年の夏」に出す。』耐震診断は判断材料の一部ですが、並行して耐震補強計画、整理統合計画、民営化計画など市民ワークショップも含めて進め、超スピードで「オープンに」「丁寧な」子ども達の安全安心最優先に進めて欲しいと思います。



ほぼ毎日更新中！

<http://mac-joe.net/>

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!



ご希望の方には
さかそう通信
郵便配達

いたします!
右記までお問い合わせ
お願いします。

市政相談・お問い合わせ

お気軽に



上甲誠市政相談所

大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

■その4

阪南市は財政厳しい。福祉に重点を置き、子どもから高齢者が安心して暮らしていくために「まちづくりの仕組み」を変える。同時に財政を健全化し、元気な街を作っていく。企業誘致・観光誘致にも取り組む。

市長は選挙の時から「阪南市は財政再建団体 転落寸前」とPRし、この本議会でも否定しませんでした。財政状況が非常に厳しいのは多くの人が認識していますが「財政再建団体」とは違います。指標となる数値はいずれも「財政再建団体」からは遠い所にあります。阪南市の財政は厳しいながらもここ数年でずいぶん立て直してきました。将来負担比率もできるだけ低く抑えています。

市長の大切なメッセージはここからです。子どもから高齢者が安心して暮らしていくため「まちづくりの仕組み」を変えるためにお金を使い、同時に経常収支比率（平成27年度97.4%）や財政力指数を改善、市債（市の借金）を減らし、財政調整基金を積み上げ、財政を健全化する。私も一議員として、しっかり中身をチェック、議論したいと思っています。

■その5

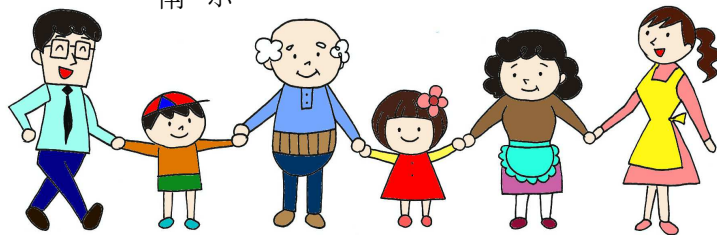
市民の皆さんが行政と協働し、「ワガコト」として「まちづくり」に参加しなければならない、その筋道をしっかりと示していきたい。

これは私も普段から様々な活動を通じて訴え、呼びかけております。阪南市には様々な分野で頑張っている方々がたくさんいます。これから頑張りたいと思っ

ている方もたくさんいます。そんな皆さんを繋ぎ、情報を受発信・共有し、みんなが前向きに協力して幸せを分かち合う。公共はそれを全身全霊でサポートする。そんな阪南市・泉州をめざしたいと思っています。

■その6

生活困窮・福祉と関連する「公共料金（税・保険・医療・教育）の値下げ」については住民の訴え・支持がないと



検討できない。公民協働で議論が必要。

他の議員の質問に対する答弁でしたが、公共料金の値下げに限らず、福祉・生活に関しては市民が積極的に声を上げ、一緒に考えましょう、という市長のスタンスです。いよいよ市民が自分たちの「まちづくり」のために立ち上がる時が来た、という感じですが、もちろん我々議員も高い意識を持ち、情報の受発信、そして議論・提案を進めていかなければなりません。

■その他、政活費について

以上、市長のメッセージを6つ、お伝えしました。この他にもたくさんありますので議事録・YouTubeなどをぜひご覧ください。

あと一点、ご報告です。この本議会での議員の「政務活動費」について、「後払い方式・情報すべてネットで公開」この2つを定めた条例を全会一致で議決いたしました。当然ですが領収書も原本提出を義務付けます。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも一生懸命頑張ります。ブログ・後援会も含めて今後ともよろしくお願ひします。